



「中央通り線」の道路整備について、地域の皆さんと一緒に検討を進める場として、昨年10月に『第1回 道づくり会議』が開催されました。（会議の詳細は本通信 No.1を参照ください。）今回は、その後に実施しました『アンケート調査』及び『第2回 道づくり会議』の内容についてご案内いたします。

「アンケート調査」について

平成26年11月初旬から15日の期間、中央通り線の道づくりについてアンケート調査を行いました。

アンケートは以下についてお聞きしました。

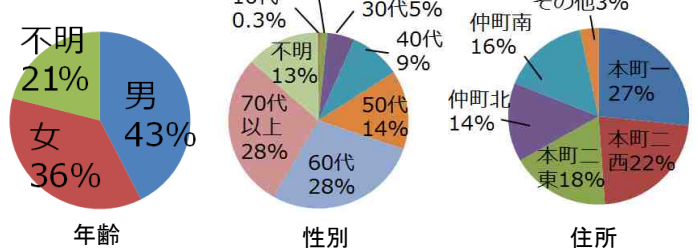
- Q1:地域の課題はどのような事ですか？
- Q2:中央通り線が整備された場合、期待すること、懸念することはどんなことですか？
- Q3:今後、地域住民の皆さんとともに議論を深めるため「道づくり会議」に参加したいと思いますか？
- Q4:その他、思うことや考えることがありますか？

配布数：900通

配布先：本町一丁目(240)・本町二丁目西(200)・本町二丁目(160)・仲町北(130)・仲町南(140)・その他(30)

回答数：367通(回答率 約40%)

・回答者の内訳



大きく分けると、こんな意見が出されました！

■ 交通安全に対する意見

- ・歩行者を巻き込む事故が起きないような安全な道路にしてほしい。
- ・歩行者が安全に通行できるよう歩道を設置してほしい。
- ・街が暗く危険なため、街灯・防犯カメラを設置してほしい。
- ・子供の通学路でもあり事故の危険性が高いため、安全性に配慮が必要。
- ・通学路なので、工事中の安全も確保してほしい。
- ・道路が整備されても路上駐車が多くならないような対策を期待。
- ・交通量が増えないよう中央通り線を迂回するような工夫が必要。

■ 使いやすい道路に対する意見

- ・ベビーカーや電動カートに優しいバリアフリーに配慮した道路整備に期待。
- ・高齢者の転倒防止のため、車道と歩道の段差をつくらないでほしい。
- ・歩道に電柱があると歩きづらく危険なため、電柱を地中化してほしい。

■ 景観等に対する意見

- ・空き店舗・廃屋・空家が目立ち乱雑のため、街灯・街路樹など環境に配慮した整備が必要。
- ・何もかも新しくするのではなく昔ながらの建物は文化財として残してほしい。

■ 生活環境に対する意見

- ・街路樹が少ないため、大きく育つ街路樹を植えてほしい。
- ・建物の老朽化や空き店舗の存置対策、鳥のフン等の衛生面改善が課題。

■ 街中の活性化に対する意見

- ・活性化を図るためにも中央通り線の拡幅は必要不可欠。安全に歩けたり館林祭りが活性化するためにも道路幅が広がることに期待。
- ・やめてしまうお店が多くなって、今より生活が不便になることが心配。

■ 防災面に対する意見

- ・周辺地域を含め、消防車が入れる最低4m以上の道路拡張が必要。

■ その他意見

- ・整備が決定されてから30年近く経っている。現在ある家を移転して何年後に完成するのか。今となっては遅いのでは。
- ・後継者のいない商店が多く、建直しても続かない店ができ、かえって活気がなくなり不便になる。先々のことまで見通した立案や行政であるべき。
- ・下町や駅前通りの拡幅をみても本当に良かったのか疑問。整備に必要性を感じない。

道路を整備するにあたり 7つの配慮する観点^{※1}

1. 道路利用者の安全を確保
 - ①歩行者・自転車の安全性向上
 - ②児童の通学を安全にする
 - ③ドライバーの快適な通行を確保
2. 歩きやすい空間をつくる
3. 美しい街並みをつくる
4. 生活環境を向上させる
5. 商店街を活性化させる
6. 防災性を高める
7. 効果を早期発現する

※1 アンケートで頂いた多くの意見を群馬県で整理させて頂き、中央通り線を整備するにあたり「配慮する観点」として7項目に分類しました。